

27N004_頭頸部_ERBITUX + CDDP + FU 3週毎

Cetuximab(Day1・8・15) + CDDP(Day1) + FU(Day1-4) 3週毎

◆ _____月 _____日(Day1)から _____コース実施。(外来で実施・入院で実施)

Rp	商品名	用量[基準量]	投与方法	Day0	1	2	3	4	5	6	7
1	デカドロン錠0.5mg	16錠	po			●	●	●			
2	テルモ生食(500mL) 硫酸Mg補正液1mEq/mL	1袋 8 mEq	div / 2hr		●						
3	生食注(50mL)	1瓶	div / フラッシュ		●					●	
4	生食注(100mL) デカドロン注射液1.65mg ポララミン注5mg	1瓶 6 A 1 A	div / 15min		●						
5	生食注(50mL)	1瓶	div / 15min		●						
6	生食注(250mL) アービタックス注射液	1袋 _____mg[初回400mg/m2] _____mg [2回目以降250mg/m2]	div / 2hr ※1		○						
7	生食注(50mL)	1瓶	div / 1hr ※2 経過観察		●						
8	生食注(1リットル) フルオロウラシル注	1袋 _____mg[1000mg/m2]	div / 24hr		○	○	○	○			
9	パロセトロン注バッグ0.75mg/50mL* アロカリス点滴静注235mg	1袋 1瓶	div(側管) / 30min		●						
10	生食注(50mL)	1瓶	div(側管) / フラッシュ		●						
11	テルモ生食(500mL) シスプラチン注	1袋 _____mg[80mg/m2]	div(側管) / 2hr		○						
12	20%マンニトール注(300mL)	1袋	div(側管) / 1hr		●						
13	ソリューゲンF注(500mL)	1袋	div(側管) / 5hr ★ 2回/日 ★		●						

※1 アービタックス注は忍容性が良好であれば、2回目以降1hrで投与可。

※2 Rp7の生食注は、アービタックス注の忍容性が良好であれば、医師の判断で2回目以降30minに短縮可。

・ 皮膚障害対策として、あらかじめ”RASH対応セット”をオーダーしてください。